私たちは患者さんに寄り添い
心のこもった看護を目指します

〈看護理念〉

- 患者さんの人権を尊重した患者さん中心の看護を実践する。
- 安全で質の高い看護を提供する。

〈看護目標〉

- 専門職としての自覚と責任を持ち、質の向上を目指し研鑽する。
- 自分を常に振り返り、豊かな人間性の向上に努める。
- 事故防止の意義を知り、患者さんの療養上の安全と安楽を守る。
- 快適な療養環境を整え、患者サービスの向上に努める。

看護師長よりメッセージ

私たち看護部では、患者さんの人権を尊重した患者さん中心で質の高い看護の提供を理念に掲げ、安全と安心、信頼される看護の提供に努めております。

そのためには、一人ひとりに合わせたきめ細やかな看護と患者さんの立場に立ち、患者さんのニーズに応える看護を基本と考え、日々医師をはじめとし、多職種と協働を図り、身体面・精神面・社会面と向き合い「苦痛の緩和」「疾病の予防」「健康の保持増進」「健康の回復」の４つの基本的責任の遂行に努めております。

2020年12月より回復期リハビリテーション病棟が設立され、急性期から回復期まで幅広いステージにて患者さんと関わる事ができるようになりました。

急性期から回復期までの一貫した看護の提供と、安心して療養に専念できる環境作りにスタッフ一同取り組んでおります。

当院に関心を持たれた方は、是非一度見学においでください。お待ちしております。

看護師長
奥永 雅哉

沿革

昭和61年12月	中津脳神経外科病院開設（病床数45床） 院長 山下正文
平成 2 年	超電導0.5TMRI装置導入（県北初）
平成 3 年	増築増床（病床数55床）
平成12年	DSA装置導入
平成13年	超電導1.5TMRI装置導入
平成18年	医療法人 弘仁会設立（理事長 大堀哲男）
平成21年	理事長・院長 森本一弥就任
平成22年	3D－DSA装置導入
平成23年	ナース・リハビリ棟増改装・CT（16列）装置導入
平成25年	超電導1.5T（ワイドボア）装置導入
平成26年	PACS装置導入
平成29年	電子カルテ導入・CT（64列）装置導入
令和 2 年10月	増築増床（74床）・回復期リハビリテーション病棟開設